



大地申  
第25号

## 「東鷲宮駅業務委託について」に関する申し入れを提出する！

大宮地本は、大宮支社より東鷲宮駅で行う駅業務を委託する「営業関係施策について」の提案を受け関係組合員と議論を行ってきました。

会社は、「当社を取り巻く環境の変化」「駅の要員事情」「駅業務を担う人材の育成」を踏まえ、グループ一体となった効率的な駅業務体制をスピード感を持って構築していくことを目的に、7月1日に株式会社JR東日本ステーションサービスに東鷲宮駅で行っている駅業務を委託しようとしています。提案の中で駅の業務運営はグループ会社で行い、資格を要する運転取扱業務は本体で行なっていくという新たな考え方が示されました。

今回、業務委託する東鷲宮駅は工臨業務における信号取扱業務があります。2017年度申11号「安全第一、サービス品質向上、駅業務を担う人材育成を成し遂げ、鉄道事業者の使命を果たせる駅職場の実現を求める申し入れ」の団体交渉で、東鷲宮駅は信号業務ができる貴重な駅であり、業務に変化がない限り、委託しないことを労使の共通認識としてきました。

しかし、提案の場で会社からは「昨年、支社に入換PTが出来た時点で入換については切り離す方向で整理してきた」という一方的な考え方が示されました。この間の議論経過を無視した一方的な内容の変更は団体交渉の形骸化であり看過することは出来ません。

入換業務を入換PTに集約していく過程で、入換業務や信号取扱を安全かつ取扱誤りを無くすためには、マニュアル等の整備は基より、職場の特情を把握し経験に基づいた人材の育成が重要であり、一朝一夕で習得できるものではなく経験労働が重要です。また、業務に必要な体制は確保していくとありましたが、今現在、入換PTは2名体制であり、各職場の入換頻度を踏まえると十分な体制ではありません。また、技術継承の観点からすれば体制強化をすることが重要と考えます。

今回の施策が実施される中、また一つ信号扱いが学べる職場がなくなります。入換業務が入換PTに集約されていく変化点の中で、これまで積み上げてきた入換業務の技術を確実に引き継ぐだけでなく、これまで以上に安全性を高めて駅輸送業務を担っていくことが、今後の課題だと考えております。

様々な環境が変化していく中、安全第一、サービス品質向上を目指し、現場組合員の声を踏まえ、下記の通り申し入れを行いますので誠意ある回答を要請します。

### 申し入れ項目

1. 施策の目的に踏まえ、施策実施時にエルダー社員を配属すること。
2. 運転取扱駅において、資格を要する運転取扱い業務に変更がある際は労使議論を行い、認識の一致を図ること。また、今後も運転取扱い業務については本体が責任を持って行うこと。
3. 入換PT発足以降の成果と課題を明らかにすること。
4. 入換PTが東鷲宮駅の工臨業務を担える根拠を明らかにすること。今後の体制と将来展望を明らかにし、入換業務の技術継承を確実にできる体制を確保すること。
5. 入換業務を集約する駅、作業頻度、各駅において入換PTの見習い回数を明らかにすること。
6. 管理駅となる久喜駅の役割と管理者の業務量の変化を明らかにすること。また、偽装請負等を防止するため、業務委託に伴う変更点や連絡フロー等を周知徹底し、十分な教育を行うこと。
7. 今施策に伴う出向の考え方を明らかにすること。
8. 施策に伴う異動に際しては丁寧な面談を行い、本人希望を尊重すること。

**団体交渉の形骸化は認められない！  
安全第一の職場環境を構築するために、  
職場の組合員の声を踏まえ交渉を行います！**